

岩国地域農林業の概要

山口県岩国農林事務所

平成28年4月1日

岩国農林事務所の管内では、瀬戸内海沿岸部を中心にれんこん産地が形成されており、県内最大かつ全国でも有数の産地となっているほか、玖北などの中山間地域では、水稻を中心に、わさび、栗などの特産野菜・果樹が生産されている。

また、肉用牛は、主に玖北地域で繁殖経営、玖西地域で肥育経営が行われており、特に玖西地域は法人化した経営体により、県下でも有数の飼養規模となっている。

さらに、管内は、林野率や人工林率が県平均を上回る林業地帯であり、良質な木材生産が行われているほか、間伐材などの森林バイオマスエネルギー資源の利活用を目指す取組も進められている。

農業、畜産、林業を取り巻く環境は、高齢化の進行、後継者の不足等により極めて厳しい状況にあるが、岩国農林事務所では、臨海地域から山間地域までの恵まれた自然や広島都市圏と隣接する地理的条件を生かしつつ、担い手の育成や農林産物の生産振興をはじめ、地産・地消の推進、中山間地域の活性化、農林業・農山村の多面的機能の強化等に取り組んでいる。

1 農業構造(農林業経営体)(2010年農林業センサス(確定値))

●農林業経営体数(2,401経営体)は、県全体(28,191経営体)の8.5%を占める。

単位:経営体

区分	農林業経営体						
	農業経営体			林業経営体			
	家族経営体	組織経営体	家族経営体	組織経営体			
管内	2,401	2,211	2,170	41	582	572	10
県全体	28,191	27,272	26,832	440	3,739	3,540	199

●農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満の割合が83.8%を占め、県全体(66.4%)より高く、零細な経営が多い。

区分	0.3ha未満	0.3~0.5ha	0.5~1.0ha	1.0~2.0ha	2.0ha以上
管内	3.1%	38.4%	42.3%	13.0%	3.2%
県全体	4.0%	23.8%	38.6%	23.7%	9.9%

●販売農家数(2,152戸)は県全体(26,207戸)の8.2%を占める。

●販売農家数に占める主業農家数(175戸)の割合は8.1%で、県全体(10.1%)より低い。

区分	計	主業農家	65歳未満の農業専従者がいる		副業的農家	
			準主業農家	65歳未満の農業専従者がいる		
管内	2,152戸	175戸	117戸	364戸	82戸	1,613戸
県全体	26,207戸	2,639戸	1,748戸	5,358戸	1,510戸	18,210戸

●販売農家を専業別にみると、専業農家が44.7%を占めるが、大半が男子生産年齢人口のいない高齢専業農家である。

区分	専業農家	男子生産年齢人口のいる世帯	1種兼業農家	2種兼業農家
管内	963戸	116戸	97戸	1,092戸
県全体	8,713戸	1,372戸	2,324戸	15,170戸

●農業就業人口(2,969人)は、県全体(35,201人)の8.4%を占める。

●年齢階層別にみると、65歳以上の占める割合は80.3%で、県全体(75.6%)より高い。

区分	農業就業人口			
	合計	15~59歳	60~64歳	65歳以上
管内	2,969人	239人	347人	2,383人
県全体	35,201人	4,373人	4,230人	26,598人

2 耕地面積(平成25~26年山口農林水産統計年報)

※「2 耕地面積」以降、端数処理の関係で計が一致しない場合がある。

●耕地面積(3,293ha)は県全体(48,800ha)の6.7%で、管内総土地面積(88,430ha)の3.7%を占める。

区分	耕地面積	田	畑
管内	3,293ha	2,578ha	718ha
県全体	48,800ha	39,700ha	9,020ha

3 稲・麦・大豆等作付面積(平成25~26年山口農林水産統計年報)

●水田(本地面積)に対する水稻作付け面積の割合は53.6%で、県全体(62.1%)より低い。

区分	水田(本地)	水稻	麦	大豆
管内	2,317ha	1,242ha	10ha	21ha
県全体	35,900ha	22,300ha	1,431ha	764ha

4 特産物(野菜・果樹等)作付面積

(れんこん:平成23年JA岩国市、平成25年JA山口東農業振興計画、平成25~26年山口農林水産統計年報)

(くり:平成25年度特産果樹生産動態等調査(農林水産省生産局園芸作物課))

●山口県のれんこん作付面積(223ha)は全国5位(平成26年度)であるが、そのうち、岩国地域の作付面積(177ha)は県全体の79%を占めており、全国有数の産地を形成している。

●くりは美和町原産の「^{がんね}岸根栗」などが栽培されており、作付面積(163ha)は県全体(469ha)の35%を占めている。

区分	れんこん	くり	岸根栗
管内	177ha	163ha	121ha
県全体	223ha	469ha	168ha

5 農業生産基盤(平成27年度県農村整備課調べ)

●水田整備率は59.2%で、県全体(73.8%)と比べると低い。

区分	整備対象面積	整備済み面積	整備率
管内	1,830ha	1,084ha	59.2%
県全体	31,000ha	22,870ha	73.8%

6 畜産(平成27年畜産調査表)

- 肉用牛は主に周東地域で飼養されており、全体の飼養頭数(2,477頭)は県全体(16,826頭)の14.7%を占める。
- 豚の飼養頭数(6,162頭)は県全体(20,819頭)の29.6%を占める。
- ブロイラーの飼養羽数(180千羽)は県全体(1,135千羽)の15.9%を占める。

区分	飼養頭数				
	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
管内	55頭	2,477頭	6,162頭	2.4千羽	180千羽
県全体	3,118頭	16,826頭	20,819頭	2,278千羽	1,135千羽

区分	飼養戸数				
	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
管内	3戸	46戸	2戸	20戸	2戸
県全体	68戸	531戸	14戸	51戸	46戸

7 森林面積(平成26年度森林・林業統計要覧)

- 総土地面積(88,430ha)に対する林野面積(71,908ha)の割合(林野率)は81.3%で、県全体(71.7%)より高い。

区分	総土地面積	林野合計	林野		林野率
			森林	原野探草地	
管内	88,430ha	71,908ha	71,371ha	537ha	81.3%
県全体	611,232ha	438,462ha	437,070ha	1,392ha	71.7%

- 森林のうち国有林は2.5%で、民有林が97.5%を占める。

区分	森林面積合計	国有林	民有林	
			うち私有林	
管内	71,371ha	1,814ha	69,557ha	66,424ha
県全体	437,070ha	11,465ha	425,605ha	368,935ha

- 民有林の人工林率は48.7%で、県全体(43.9%)より高い。

区分	民有林	人工林			人工林率
		人工林	天然林	タケ	
管内	69,557ha	33,881ha	34,247ha	799ha	48.7%
県全体	425,605ha	186,982ha	221,866ha	12,038ha	43.9%

- 人工林のうちスギが37.0%、ヒノキが50.9%を占める。

区分	人工林	人工林			広葉樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	
管内	33,881ha	12,528ha	17,256ha	3,681ha	416ha
県全体	186,982ha	65,795ha	86,779ha	30,257ha	4,151ha

8 特用林産物生産量(平成26年度森林・林業統計要覧)

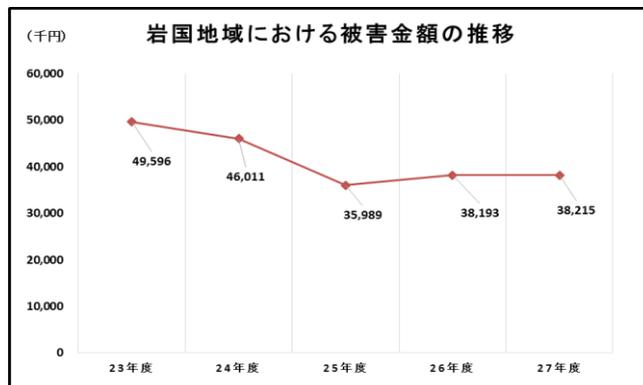
- 主な特用林産物にはきのこやたけのこなどがあり、特に、わさびの生産量は県全体の48.4%を占める。

区分	生しいたけ	乾しいたけ	まつたけ	たけのこ
管内	6.3t	0.0t	0.0t	16.5t
県全体	150.8t	18.5t	0.0t	174.5t

区分	わさび
管内	5.9t
県全体	12.2t

9 野生鳥獣による農林業被害額(平成27年度県農林水産政策課調べ)

- 岩国地域における農林業被害額は近年減少傾向にある。
- 被害額のうち、イノシシ被害が63.0%と最も高く、次いでサル被害が27.9%を占める。近年、サル被害は増加傾向にあり、県全体(21.6%)より高い。なお、現状シカ被害は確認されていない。
- イノシシ、サルの捕獲頭数は近年増加傾向にある。



区分	被害額合計	被害種別			
		イノシシ	サル	シカ	その他
管内	38,215千円	24,075千円	10,665千円	0千円	3,475千円
県全体	522,162千円	239,959千円	112,541千円	93,613千円	76,049千円

区分	H25年度捕獲頭数	H26年度捕獲頭数	H27年度捕獲頭数
イノシシ	875頭	845頭	1089頭
サル	116頭	218頭	121頭
計	991頭	1063頭	1210頭

管内図



	アメダスポイント(平成27年)	
	岩国(岩国市川西)	広瀬(岩国市錦町)
年平均気温	15.3℃	14.4℃
年間降水量	1,952.5 mm	2,571.0 mm